

## 4月市長定例記者会見

(平成31年4月25日(木)14時～)

### 市長発表事項

それでは、発表させていただきます。今月は大きく4項目あります。

#### 【天皇陛下御即位及び新元号施行に伴う対応について

##### ①天皇陛下御即位奉祝記帳所の設置について】〈総務課〉

まず1項目目、天皇陛下御即位及び新元号施行に伴う対応についてということで5点ほど説明させていただきます。

まず1点目です。天皇陛下御即位の記帳所を設置させていただきます。日時は5月1日、4日、5日の3日間でございます。場所は和歌山市役所の本庁舎1階、また7か所のコミュニティセンターになっています。5月1日は本庁舎の方は正面玄関から入っていただけるようになっています。

#### 【天皇陛下御即位及び新元号施行に伴う対応について

##### ②祝新元号「令和婚」初日限定イベントについて～市長が新しい門出をお祝いします～】〈市民課〉

2つ目でございます。改元初日ということで、市民課の戸籍窓口を特別開設させていただきます。これは新元号になって婚姻届を出される方も多ということで、朝の8時30分から特設会場を設置させていただきます。本庁舎の1階でございます。私も8時30分から婚姻届等の対応をさせていただいて、記念品を渡させていただこうと思っています。島精機さんにご協賛いただいてオリジナルのコースターを全員に配らせていただくことになっています。当日は8時30分から午後5時15分までずっと対応させていただいて、渡させていただくことになっているんですけど、私の方は8時30分から11時まで直接対応させていただく予定になっています。それと記念婚姻届けと出生届、これは出させていただいているんですけど、それにいずれも令和元年のスタンプを押させていただいてお渡しさせていただくことになっています。また婚姻届を提出された方が記念撮影できるメモリアルフォトブースというのは令和元年5月1日という表記をバックにして記念写真を撮っていただけるようになっていますので、是非5月1日は、婚姻届等出していただければと思います。

## 【天皇陛下御即位及び新元号施行に伴う対応について】

### ③和歌山城の令和改元イベントについて】〈和歌山城整備企画課〉

和歌山城で改元イベントを行います。一つは、改元記念符というのを出品させていただきます。これは令和元年5月1日に天守閣へ登っていただいた方に、この改元記念符を出品させていただくことになっています。和紙で非常にいいものがございます。ただ入場するのに入場料が必要でございます。同じく天守閣前でございますが、和歌山城ワンワンワンデーということで、令和元年であるということ、元年の一日であるということ、またこの紀州犬が一歳になるということ、ワンワンワンデーということで、午前9時半から10時まで、午後は1時半から2時までふれあっていただけると。そして記念撮影もしていただける。和歌山城でそんな準備をやっていきます。

## 【天皇陛下御即位及び新元号施行に伴う対応について】

### ④菓子木型で粘土の型抜き体験“令和菓子”と「万葉集」の注釈書公開】〈文化振興課、博物館〉

市立博物館において、菓子木型で粘土の型抜き体験ができるということで、菓子木型は駿河屋さんの非常に価値のある木型でございます。今回菓子木型と紙粘土で、「令和」文字が押された梅の花を型抜きできる体験をしてもらえます。子供さんたちもぜひこの記念に博物館へ行っていただい。場所はエントランスホールで、無料ですので、是非この体験をしていただい記念として令和元年5月1日に作っていただければと思います。併せて博物館の方では、新元号令和の出典である万葉集について、江戸時代に万葉集の入門書として活用された注釈書「万葉集略解」を公開させていただきます。非常に価値のある本なんですけれども、令和元年にちなんだ文言も入っています。これもエントランスホールで無料でご覧いただけますので是非お越しいただければと思います。

## 【天皇陛下御即位及び新元号施行に伴う対応について】

### ⑤「令和元年 子どもなかよしまつり・音楽大行進」の開催について ～令和】で初の5月こどもの日に音楽大行進パレードが始動！～ 〈文化振興課〉

5月5日こどもの日に、毎年やっているんですが今年は令和元年記念ということで子どもなかよしまつり・音楽大行進というのを開催させていただきます。これは主に小学生・中学生が中心になってパレードをしていただくということで34団体2,200人の子どもたちが、このこどもの日を祝って楽しんでいただくイベントになっています。

### 【特別顧問の選任について】〈政策調整課〉

和歌山市では、この度特別顧問を設置させていただきます。その第一号となる方は、和歌山市の出身でもある方で、東京大学等で特任教授もされた非常にまちづくりや環境に詳しい方ということで、信時正人さんを5月13日付で和歌山市の特別顧問として就任いただく予定になっています。今後SDGsの関係や、持続可能なまちづくりへのテーマを担当していただいて、ミッションを受けてもらうような形で進めていきたいと思っています。

### 【国への予算要望にかかる成果について】〈政策調整課〉

国の予算要望も、毎年毎年、国への強い要望を行ってきました。特にいくつか進展しました。大きな進展として一つ目が、国道42号の和歌浦周辺が唯一歩道がない区域なんですけど、これは2017年、平成29年度に事業化されたんですけども、非常に危ない区間がまだ残ってました。その区間が延伸されて、歩道のない区間が全部整備していただけるということになりました。市の方でも用地買収等は手伝わさせていただいて、今後、事業促進に向けて進んでいく予定になっています。

二つ目が小中学校のトイレの洋式化の要望が通りまして、すべての小中学校のすべての階に洋式トイレが設置できることになりました。今年度内の完了を予定しており、来年の春には子ども達も各階で洋式トイレが利用できることとなります。学校環境につきましては、空調設備に引き続き、トイレの環境も改善され、大きな進展があったと思います。

### 【第32回全国健康福祉祭和歌山大会ねんりんピック紀の国わかやま2019ゲートボールリハーサル大会について】〈スポーツ振興課〉

ねんりんピック紀の国わかやま2019が今年の11月9日から開催されるのですが、それに先駆けて、和歌山市の方でもリハーサル大会を行います。和歌山市でも4種目実施する交流大会のうちの1種目であるゲートボールのリハーサル大会を5月14日に開催させていただきます。県内各地から大勢の方がこられます。一つ目が予選の選手選考会として、二つ目は本番への運営準備として、このリハーサル大会を成功させていきたいと考えています。

## 記者の質問事項

## 【天皇陛下御即位及び新元号施行に伴う対応について

### ②祝新元号「令和婚」初日限定イベントについて～市長が新しい門出をお祝いします～】〈市民課〉

(記者)：市長が婚姻届の受け取りをされることについて、県職の時代も含めて窓口の業務をされたご経験はおありなんですか。

(市長)：窓口というか、私は県庁の時代土木職の方だったんで、直接住民の方と接するというのがどちらかといえば多かったんです。だから窓口という形ではないですけども、そういう直接の対応でしたので、窓口業務ができるのかはちょっと分からないですね。

(記者)：今回記念ということもあると思うんですけども、ご自身が受け取りもされて1日にお祝いをされるというその取り組みの位置づけについてお尋ねできればと思います。

(市長)：1つは令和元年度の1日であるということで非常に記念になる日だと思っています。そんな中で婚姻というのは大きな節目じゃないかなと思っています。和歌山市でも最近婚姻される方少なくなっている中で、象徴的な令和元年の5月1日に婚姻届を出していただく。今後婚姻が増えていく一助になればという思いで、特別に私も出席させていただいて受け取りをさせていただこうという思いでさせていただきました。

## 【天皇陛下御即位及び新元号施行に伴う対応について

### ④菓子木型で粘土の型抜き体験“令和菓子”と「万葉集」の注釈書公開】〈文化振興課 博物館〉

(記者)：続いて万葉集の注釈書の公開についてですけども、これ注釈書自身江戸時代に刊行されて、それが江戸時代に写本にしたものを公開するという理解でいいですか。

(市長)：江戸時代の写本でございます。これは和歌山市の教諭をやられていた方が保存されていたものなんですけれども。令和について万葉集から引っ張っていただいていることと、江戸時代に多くの方が注釈書を読んで万葉集を理解されたということで、その現本を展示させていただこうと思います。

(記者)：もし分かればで結構なんですけれども、もともとその前文というか序文自体が元号の引用ですけども注釈部分はこの部分について何か、どういった注釈が行われているかというのは何かございますか

(市長)：この令和元年になった「初春の令月にして 気淑く風和む」というところは注釈には入っていないんです。入っていないのでその後の部分と

いうのは注釈に入っているんで。江戸時代にこういうもので万葉集というのを理解されたんだよということが分かっていたらという思いであります。

#### 【特別顧問の選任について】〈政策調整課〉

(記者)：続いて特別顧問についてお尋ねしたいですけれども、和歌山市出身というご紹介がありましたけれども、現在東京ガスの社外監査役ということで、現在和歌山市にはお住まいですか。

(市長)：お住まいは兵庫県の宝塚市に住まわれています。そしてたまに東京に行かれてるんですけど、もともと和歌山ということで和歌山の関連でもいろんな活動をしていただいています。海の資源を生かそうする NPO 活動されていますし、時々戻ってきておられますので、そういう時を利用してこの特別顧問としてご活動いただければと思っています。

(記者)：市長先ほどミッションとおっしゃいましたけれども、もう少し具体的にどんな形で市の行政のお勤めを果たしていただきたいとお考えですか。

(市長)：専門がまちづくりと地球環境等が専門でございます。まさにこれから SDGs ということで我々も取り組んでいこうと思っている方向でございます。その中でここにも書かせていただいているんですけども、国の方で SDGs の未来都市、モデル事業というのを公募されています。それを和歌山市の地域に合った形で SDGs の未来都市としてしっかり作り上げていって、そして国の採択をいただけるようにすることを1つのミッションにしたいと思っています。ただミッション自体はこれからも時代に合わせながら、また、いろんな壁が出てくるたびにミッションを願いできればなと思っています。

#### 【天皇陛下御即位及び新元号施行に伴う対応について

##### ②祝新元号「令和婚」初日限定イベントについて～市長が新しい門出をお祝いします～】〈市民課〉

(記者)：私の方も令和婚のことで、ちょっと市長にもう1度コメントをお願いしたくて。せつかくの記念日を迎えられる、ちょっと結婚・入籍を考えられている和歌山市のカップルに向けて一言お願いいたします。

(市長)：和歌山市は非常に歴史文化があるまちです。そんな和歌山市で生まれ育った、あるいは来ていただいた方が和歌山市で婚姻届を出していただ

けるというのは非常にありがたく、和歌山市にとってもありがたいことですし、今回令和元年5月1日という特別な日でもあります。そうした日に婚姻届を出していただいて、大きな一生の思い出にさせていただければ。そういう思いを込めて今回婚姻届を受け取りさせていただいて、記念品をお渡しさせていただきたいと思っています。

(記者)：ちなみにオリジナルコースター、この白地と紫地の2つ1セットでこの該当の時間の方全員に下さるといふ。

(市長)：その通りです。お2人なんで1人1つずつ。

### 【特別顧問の選任について】〈政策調整課〉

(記者)：特別顧問の事についてお伺いしたいんですけれども、先ほど特別顧問第1号とおっしゃっていましたが、改めてどういった経緯で今回特別顧問の選任に至ったのかということをお教えいただければと思います。

(市長)：今時代が大きく変わりつつあります。非常に広い観点からいろんな知識を必要とされています。そんな中で今この信時さんという方は国内でも幅広く活動されていますし、いろんな知識情報等お持ちでございます。そして実践活動もされています。そういう方が和歌山市のアドバイザーとして、あるいは直接いろんなことをやっていただけるような顧問として活動していただける。和歌山市にとっても非常にありがたいということでございますので、1度お願いしたときは快く引き受けていただけたので、ぜひ和歌山市で我々が持っていない部分を担っていただけるようなそんな活動をしていただければと思います。

(記者)：今の質問に続いてなんですが、特別顧問の方5月13日に何かしら任命の式典があるのか、またそれ以降のまず特別顧問としての初仕事何か予定が決まっていたら教えていただきたいのですが。あと細かいのですが生年月日分かればお願いします。

(市長)：分かる部分だけ言います。任命式はその日に5月13日に任命式を行わせていただきます。その後その日に各部局の幹部を集めて情報交換みたいな形で和歌山市の状況・課題等説明させていただいて、それに対して今後信時さんがどういう活動をしていただけるか、アドバイスいただけるか、そうしたことを第1弾としてその日に打ち合わせていただけたらと思っています。それ以降については、まだ日が未定なんですけれども、大体月に1回ぐらいのペースで今後特にSDGsの未来都市の考えなんで

すけれども、そうしたことを中心にいろんご提言なり解決策等をいただければと思っています。

(記者)：信時さんは特に任期なんかは決まっているんですか。

(市長)：基本は1年ですけれども、本人さえ良ければずっと続けていただければと。

**【国への予算要望にかかる成果について】〈政策調整課 道路政策課 教育施設課〉**

(記者)：国への要望の成果なんですけれども、トイレの洋式化なんですけれども、1点目は小学校って男女同じトイレになっているじゃないですか。そうすると各階の少なくとも1か所は男の子も女の子もそれぞれ必ず洋式のトイレがあるという理解でいいですかね。

(市長)：たぶん男女分かれていて階ごとに1階は男子で2階は女子だよと分かれていて、両側にあるんだよね、トイレは基本的に。

(担当)：今男女別化になっていない所もあるんですけれども、一応間仕切りを天井まで上げて各フロア男女別化の方になってまいります。洋式化も同時にはかかっていく。あとはバリアフリー化もはかかっていく事になっています。

(記者)：もう1点は和式についてなんですけれども、一面では洋式ではお尻がついちやってそれで嫌がるという児童もいてるという話なんですけれども、全て洋式化していく方向でしょうか。

(市長)：これは全てを洋式化する予定はないです。10年計画で洋式化率を大体80%くらいまでもって行って、2割ぐらい、和式を残す予定だったんですけど、今回一度に予算がついてきて。現在、30パーセントほどの洋式化率が50パーセントほどになるんだったかな？

(担当)：はい、30年度末で33.7%になります。それでこの事業が終わると50%、今回まだちょっとはつきり洋式化率というのを算出できていないんですけれども、55%程度はいけるのかなと思っています。

(市長)：補足させていただくと、トイレの洋式化は少なくとも縦の列で全部の階に洋式トイレがあるようにしてくださいよということで、縦の列を全部上層階に向けてやっていく予定になっているので、ほぼ各階にはあるという状況になってきます。

(記者)：先ほど市長が10年で80%というスケジュールみたいなのをおっしゃったんですけど、これは今回認められたことでかなり早まっているという考えでいいんでしょうか。

- (市長)：かなり早まりましたね。今年度で 5 年間分ぐらい進めることができると思います。
- (担当)：市長がおっしゃったように 5 年間以上ですね。この 1 年でという形になります。
- (記者)：これは押しなべて全国そういう今回 2 次補正の中で学校施設の環境改善というメニューの中で進めることが出来たという理解なんですか。
- (市長)：空調整備も、これも和歌山市はいち早く取り組みました。全国に先駆けて空調が整備されて、去年の夏は全国的に猛暑ということで、去年の国の方の補正予算などでは、空調整備というところが 1 番のテーマになりました。和歌山市では全小中学校は終わっていたので次の段階に行こうということで。トイレの洋式化自体は、全国に比べて和歌山市は遅れていたんで、それを全国よりもさらに上げるということで、今回たぶんそういう背景もあって国の方で要望した全額をつけてくれたんじゃないかなと思っています。

#### 【発表項目以外について】

- (記者)：発表項目もそうなんですけれども、今回かなり令和についてのイベントや催しが予定されていると思うんですけれども、改めて和歌山にゆかりがあると言われてる令和という時代、言葉について市長の抱かれる思いというのを伺いさせていただければと思うんですけど。
- (市長)：令和への思いというか、言葉への思いという意味では、令和ってやっぱり万葉集から取っていただいたということで、たぶん万葉に関する地域はたくさんあると思います、全国でも。その中でも和歌山市というのは 1300 年前といいますか、聖武天皇が 724 年に来られて 1 週間ほど滞在された時、山部赤人等が和歌山の美しさというのを詠んだ、そういう非常に万葉の歴史のあるところであると思っていますし、万葉の神様衣通姫もおられますし、万葉には非常に縁の強い所だと思っています。そんな中で万葉からとっていただいたということは和歌山にも非常にこれから文化とか歴史の面で、今まで持っていたものを更に輝かしていきたい、そういう思いであります。
- (記者)：改めて 5 月からは改元になって新しい令和という時代が始まると思うんですけれども、そこに向けての市長の思いといいますか、どういった和歌山市政にしていきたいということがもしございましたら。



(市長)：令和の時代というのはやっぱり平成の時代に引き継いでという形になると思っています。平成の時代というのは和歌山にとっては激動の時代だったんじゃないかなと思います。全国的に言うと災害が多かったような時代なんですけども、和歌山市にとっては平成に入っているいろんなことが一挙に起こってきました。例えば高速道路が大阪に初めて通じたというのも平成5年だし、人工沖合型リゾート博もやられた、また関西国際空港も平成6年にオープンした。また平成7年には吉宗ブームも起こって大勢の人が和歌山へ来てくれた。非常に平成の始まりというのは和歌山にとってこれからだという時代だったんじゃないかなと思っています。ただ残念なのがバブル崩壊等がだんだん出てきてしまって、さあこれからだと、高度経済成長期に乗り遅れた和歌山の時代が来たと思っています。ただなんですけど、そういうバブル崩壊の中で経済が停滞して人口が減少しだす、更に人口が減少して少子高齢化も進んでくる。そんな時代になってきて、その平成の特に後半というのはそうした人口減少、少子高齢化に対応したシステムというのがどんどん整備されていって。和歌山市でもコンパクトシティを進めていったり、高齢者の方には介護医療を受けられるような地域包括ケアシステムも進めてきました。また子育ての環境でいうと、特に女性の社会進出だとか、そんな中で待機児童の問題も多く出てきました。それを幼保一元化ということで、認定こども園等の法律も整備されて新制度のもとで今進めようとしています。そういう少子高齢化、人口減少に対応したようなシステムが出来上がったのが平成じゃないかなと思っています。それを令和の時代に更に発展させていくと思っています。特に今回令和という言葉から、和歌山にとって歴史と文化そういったものを大切にしながら、持続的に発展できるようなそんな和歌山市になっていけばという思いで、取り組んでいきたいと思っています。

(記者)：今少子高齢化の話もありました、県が推計人口を発表して県全体の人口が93万人を割り込んで、岩出市や日高町以外の和歌山市含めて減少傾向がずっと続いているんですけども、この状況を、減少傾向の歯止めがきかない状況について市長はどう受け止めていらっしゃいますか。

(市長)：1つは県全体の話にとっては県庁所在都市である、県都としての和歌山市という役割というのは非常に大事だなと思っています。和歌山市自体の人口減少はどんな傾向かというところ、国立社会保障・人口問題研究所が予測しているところでは、和歌山市は2040年には31万人になってしまうという予測になっています。今後和歌山市の1番の悩みというの

が、若い人が流出してしまい、そして、若い人が入ってこない、それが大きな悩みで。人口減少自体はある程度やむを得ないところがあるんですけど、やっぱり若い人と高齢者の割合というか、そうしたところがこれからやっぱり社会保障とか福祉を維持する上では大事だと思っています。そんな中で持続的に発展させようとするれば、若い人を呼び込むべきだと。若い人はやっぱり和歌山市にいておいてもらうんだという思いですが、特に高校から大学に進学する時に和歌山県では約9割の高校生が県外大学に進学してしまう。それを何とか食い止めなきゃということで、大学が相次いでできました。いずれも和歌山市が必要とする職に関係した学部がある大学だと思います。去年は東京医療保健大学の看護学部、また今年には和歌山信愛大学の保育士さんを中心としたような初等教育、そして来年は県の方で理学療法士さん、再来年は薬学部ということで、4つか5つぐらいできてきて、1学年につき大体450人から500人ぐらいになるんじゃないかと思っています。若い人が出ていかななくても済むし、やっぱり若い人が入ってきてもらおうと思ったら、今の職業だけでは入ってきてくれない、住んでくれない状況になっています。いろんなライフスタイルを提供できる、そんな魅力のある和歌山にしていかなきゃいけないということで。そうしたことをやっていく事によって、和歌山市が県都としてしっかり受け止めるんだと。昨年12月に中枢中核都市に選ばれました。これはダム機能を果たすもの、私は防波堤機能だと言っているんだけど、やっぱり出ていかななくてもいいような圏域に住んでもらえるような、そんな中枢中核都市としての役割というのをしっかり果たしていく、そんな責任もあるんじゃないかなと思っています。

(記者)：それに関連してなんですが、信愛大学が出来てこの春からスタートして、もちろん学部の先生方にも大きな目的があって、もう1つが地域の課題解決というのも打ち出しているんですけど、ただ大学を絡ませて、具体的にこういう課題に取り組むというのがちょっと見えにくいなど感じるところがあるんですけど、和歌山市としては信愛大学に期待する部分というか、後押ししたい部分というのはどういうところですか。

(市長)：1つは大学連携ということで、大学と連携しましょうということをやっています。もう1つは学生が地域の方と連携しやすいような、そんな場を作っていきましょうということで、今年4月に地域フロンティアセンターというのをフォルテワジマさんに作りました。それは学生の方が既存の団体と共に活動してもらおうという思いで作って、今NPOの方が非常に多くなってきました。ただNPOさんが増えたんですけども、既

存の自治会であるとか老人会であるとか、そういった既存の団体、地域で非常に大きな役割を担っていた既存の団体が高齢化して、どんどん減っています。そこを新しい学生の力で一緒になって活動して行って、学生にとっては社会を知る機会になるし、我々の地域社会にとっても非常に学生の力というのは大きな力になると思っています。

(記者)：新市民会館の事なんですけれども、先日、委員会等々でも市長のご発言もありまして、市長の方にご報告が上がっている進捗状況と申しますか、今の見通し等教えていただければと思います。

(市長)：新市民会館につきましては入札が2度にわたって不調になったということで、3度目をどうするかということで議会の方でも諮らせていただきました。議会の中でも様々な意見が出ています。もうやめたらとか、耐震化にしたらなど。様々な意見があるんですけれども。今我々として準備しているところは、1つは積算面で合わなかったというところがあったと思います。もう1つは工期の面でも非常に難しかった。そういったいくつかの課題があって、なかなか応札に至らなかったのも、今その準備をやっているところでございます。1つは積算に関してはいろいろ最近の積算単価等を見直しております。やっぱり急騰している部分とか高騰している部分があって、しっかりと価格面で見直していかなければいけないなということ。もう1つは工期の面について、私としては、国民文化祭というのは文化の大きな祭典でもあるし、全国から多くの方も訪れるので、次の工期は何とか国民文化祭に間に合わせたいなという思いはあるんですが、やっぱり業者の方が受けてもらえないとダメなんで、いろいろ工期の面というのは検討しているところでございます。思いとしては国民文化祭に間に合わせたいというのは委員会でも発言させていただいたんですけれども、そういったところを現在進めているところでございます。

(記者)：関連なんですけれども、3度目の入札に向けて位置づけとしては動かれているという受け止めでよろしいのでしょうか。

(市長)：準備はしています。ただこれから、先日和歌山市議会選挙があつて、新しい議員の皆様が決まった中で、これからやっぱりそういうことも真摯に相談させていただきながら進めていきたいと思っています。

(記者)：5月の臨時議会はありますでしょうか。どうでしょうか。

(市長)：招集権は私にあるんです。あるんですが、いつにするかというところはやっぱり議会とも相談しながら、できれば5月に開ければと思います。

(記者)：最後ちょっと念のためなんですけれども、国民文化祭の方はメインの

会場を新市民会館の方をご想定されて計画をされているということでもよろしいでしょうか。

(市長)：いやそれは違うんです。メインの会場は開会は大ホールで、閉会は県民文化会館ということになっていて。我々は地域の方の文化活動というのを出来たら市民会館でやらしていただいて、多くの県外から来ていただいた人が和歌山市の文化を知っていただく。そして共に新しいものを作っていく。新しい市民会館の前には和歌山城もあるので、文化歴史の発信場所にいいんじゃないかなと思っていて。その中で思いとしては何とか国民文化祭に間に合えばなと思っています。

(記者)：観光であったり交流拠点であったりという機能もそこにということでもよろしいでしょうか。

(市長)：市民の文化・芸術の発信拠点でもあるし、そういう多くの人観光に来ていただいてちょっと寄ってもらえるような、和歌山市の中心にはこんないいものがあるということを知っていただければと思います。

(記者)：先ほども少しお話ありましたが、統一地方選が終了して、和歌山市議会では投票率が最低ということになってしまったと思うんですけど、これの受け止めというのはまた改めて市長からお言葉頂ければと思うんですけども。

(市長)：投票率が下がっているのは全国的な問題かもしれません。特に若い人が政治になかなか興味を持ってなくなっているところも大きな問題かなと思っています。今後やっぱりそういう政治というところにある程度興味を持っていただけるような政治をしなければいけないなと思いますし、投票環境も、これは特に我々の責任なんですけれども投票しやすい環境をもっと整備していかなければいけないなと思っています。期日前投票数というのは最近非常に増えているんですけども、大規模商業施設では多くの方に来ていただきました。こういったことで、投票環境をよくする、特に高齢者の方もやっぱり最近外出しにくくなっていますので、投票環境を良くしていくということも大きな行政の責務じゃないかなと思っていますので、そういうことも含めて投票率の向上に努めていきたいと思っています。